

3年保育 3歳児

〇〇組 〇色 在籍 男児〇名 女児〇名 計〇〇名 指導者 〇〇 〇〇

1 最近の幼児の姿（10月）

《遊びの様子》

- 年少組の幼児は、砂場を安心して遊ぶことができる自分たちの居場所と感じながら、砂場によく集まって遊んでいる。砂をバケツや型抜きに入れてごちそうに見立てて遊んだりすることが多く、最近では、砂場の近くに落ち葉がたくさんあるので、それをパリパリと破ってごちそうの上にかけて“ふりかけ”に見立てたり、バケツに入れて“ケーキ”と言って遊んだりしている。このように自然を遊びに生かすことは、1学期にした自分たちで育てたアサガオや園内に実ったスモモの実を使った色水遊びで経験しており、このことが素材は変わっても秋になっても進んで自然の素材を活かそうとする姿につながっていると考えられる。
- 10月の始めにドングリ拾いに行ってから以降、ドングリを遊びの中に取り入れて遊ぶ姿が見られる。空き容器にドングリを入れてマラカスを作ったり、砂とドングリを混ぜ合わせてドングリご飯を作ったり、ドングリを隠してドングリ探しをしたりするなど、進んでドングリを使って遊んでいる。また、園庭の落ち葉を拾い、それを見ながら葉っぱの塗り絵をしたことから、装飾品にしたりままごとに使ったりして遊んでいる。
- 室内では、ままごと遊びを好んでする幼児が多くいる。最近では、室内のままごとでも、たくさんのドングリをフライパンで炒めたり、皿に並べたりして遊びを楽しんでいる。また、新聞紙や空き箱などの素材を使って、スカートやマント、バックを作ることも好きで、自分で作ったものを身につけて、お姫様やヒーローになりきって楽しんで遊んでいる。

《人とのかかわり》

- 最近の年少組の幼児は、友達への興味が芽生え始めたところである。友達と同じことをしてみたり、友達が持っている物と同じ物を持ったりすることで安心感を覚え、友達とのつながりを感じる事ができている。また、友達と遊ぶ約束をしたり、友達を誘って遊ぼうとしたりするなど、友達を意識して遊ぶことが増えてきた。
- 友達と一緒に遊ぶことで満足している幼児がいる一方で、好きな遊びをしても友達とかかわる中で、自分の思い通りにいかないことがあると遊びをやめてしまう幼児がいる。また、自分のしたい遊びが見つけれないまま、友達の後を追って同じ遊びをする幼児もいる。
- 友達と同じ場所で、満足いくまでじっくり好きな遊びをすることを通して、友達と話したり、作ったものを見せ合ったりしながら、友達と遊ぶ楽しさや喜びを感じてほしいと願っている。

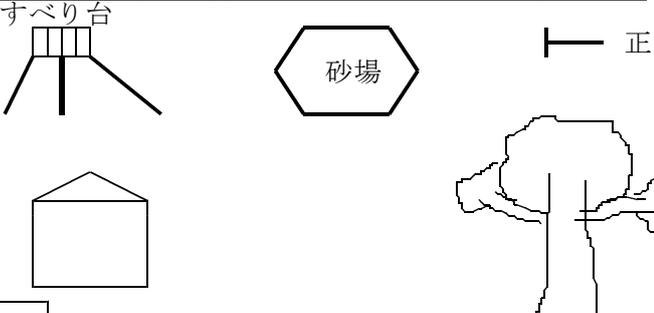
今週のねらい・内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 木の実や落ち葉にふれ、秋の自然を遊びに取り入れていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ドングリや落ち葉を使って、好きなものやごちそうに見立てて遊ぶ。 ・ 木の実や落ち葉など、いろいろな素材を使って描いたり、作ったりすることを楽しむ。 ○ 自分から好きな遊びを見つけ、教師や友達と一緒に同じ遊びを楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と同じ場所で同じ遊びをすることを楽しむ。 ・ 友達と簡単な言葉のやりとりをしながら遊ぶ楽しさを感じる。 		
物的環境	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドングリや落ち葉、マツボックリを分類して置いておき、いつでも好きな遊びに使うことができるようにする。また、外遊びの際は、砂場の近くにもドングリなどを置いておき、すぐ使えるようにしておく。 ○ カラーテープやスズランテープは、切っておいたものを使うことができるよう準備しておく。 ○ 秋の自然を感じるができるような壁面飾りを幼児と一緒に作る。 		
援助と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児が自然物などを使って遊ぶ際には、幼児の様子をよく見て、思いを汲み取りながら言葉かけなどをし、遊びの楽しさを共感しながらかかわるようにする。 ○ 自然物を使った製作をする際は、年少児でも幼児だけで作ることができるように、材料だけを準備するのではなく、落ち葉を貼る土台は形作ったものを用意するなど、難易度を考慮して、準備や援助を行うようにする。 ○ 製作に必要な道具の使い方を事前に説明し、安全面に配慮する。 		
日	15日(月)	16日(火)	17日(水)
幼児の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドングリのごちそう作り ○ 泥だんご作り ○ ままごと ○ ブロック 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 落ち葉・マツボックリ拾い ○ ドングリ転がし 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞紙・広告遊び (ドレス作り、バック作り) ○ ドングリを使ったままごと ○ マラカス遊び
絵本	ペンタとうみ	そらまめくんのベッド	かばくん
反省・考察	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドングリや落ち葉を砂場の近くに用意しておいた。砂の中にドングリを入れて混ぜたドングリケーキを作ったり、ドングリジュースを作ったりして楽しむ幼児がいた。 ● ドングリが少なかったため、一度砂に混ざってドングリが見えなくなると、ケーキ作りやごちそう作りは行われなくなった。明日は、ドングリを増やして準備したい。 ○ いつも決まった幼児が年長児の真似をして泥だんごを作ることに興味を持ち、長時間遊んでいる。だんごがツルツルになっていくことに喜びを感じているようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドングリを前日より増やしたことで、ドングリを遊びに使おうとする姿が多く見られた。室内外のままごとやパーティーごっこに使ったり、斜面でドングリを転がしたりして遊ぶことを楽しんでいた。また、ドングリを箱に入れて持ち歩くだけでも幼児にとってはうれしいようであった。 ☆ 砂場遊びでイメージがわくように教師と一緒にドングリを並べてケーキを作ると、B児は興味を示し、ドングリを混ぜるというイメージの他に並べて飾るといった遊びを始めた。その後、教師の手を離れても遊び続けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞紙や広告、スズランテープを使ってドレスや頭飾りを作ろうとする幼児が多かった。落ち葉やドングリを装飾品として取り付ける幼児もいたが、それよりも新聞紙をまとうことだけで満足しているようである。 ○ 室内のままごとコーナーの果物などを全てなくしていたため、ドングリや落ち葉を料理に見立てて、皿に盛って、楽しそうに遊んでいた。 ○ 広告で作った棒を笛に見立てて遊んでいた幼児がいたことから、これまでに作っていたマラカスでの演奏会が始まり、楽しそうだった。

○援助がうまくいったところ ●援助がうまくいかなかったところ □その他の反省・考察 ☆抽出児

本日の展開

3歳児 ○○○○組 (桃色帽子)

ね ら い 内 容	○ 落ち葉やドングリなどの素材を使って、遊ぶことを楽しむ。
	○ 自分のしたい遊びを見つけ教師や友達と一緒に同じ遊びを楽しむ。
	・ ドングリや落ち葉を並べて、好きなものやごちそうなどに見立てて楽しむ。
	・ 好きな遊びをする中で、友達と簡単な言葉のやりとりをしながら遊ぶ楽しさを味わう。

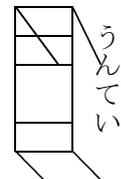
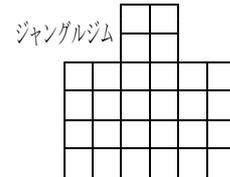
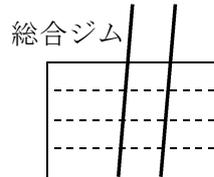
時間	一日の生活の流れ	予想される幼児の姿：本日までの遊びの様子と教師の願い
9:30	○登園する。 ・あいさつをする。 ・荷物の整理をする。 ・排泄を済ませる。	 <p>正</p>
9:50	○朝の集まりをする。 ・あいさつをする。 ・シール貼りをする。 ・先生の話聞く。 ○好きな遊びをする。	
11:15	○片付ける。 ・手洗いをする。 (着替えをする。) ・お茶を飲む。 ・排泄を済ませる。	<p>ドングリや落ち葉のごちそう作り</p> <p>砂場では、遊具を使ってごちそうやケーキ作りを行っている。友達と一緒にごちそうを作り、それぞれのごちそうを認め合いながら、楽しく遊んでほしい。</p>
11:30	○弁当の準備をする。 ○弁当を食べる。 ○歯磨きをする。	<p>職員室</p> <p>* 砂場の近くに、ドングリや木の実、落ち葉や枝などを分類して、たくさん置いておく。 * 木の実などを置いて置くテーブルと作ったごちそうを置くテーブルを用意する。 T 木の実などをどう活かしたらよいか分からない幼児には、教師も一緒に作りイメージを広げるようにする。</p>
13:00	○好きな遊びをする。 ・ドングリや落ち葉を使ったごちそう作りをする。 ・ドングリのマラカスを作り、鳴らして遊ぶ。 ・落ち葉の頭飾りなどを作って、着飾って遊ぶ。 ・砂だんごを作る。	<p>ドングリのマラカス作り</p> <p>園外保育で拾ったドングリを使い、マラカス作りを楽しんだ。新たに空き缶を使ったマラカスに興味を持つことで、音の違いを楽しんだり、作ったマラカスを鳴らして遊ぶことを楽しんでほしい。</p>
13:55	○片付ける。 ・手洗いをする。 (着替えをする。) ・お茶を飲む。 ・排泄を済ませる。	<p>園長室</p> <p>* マラカス用の空き缶や切ったビニルテープを用意しておく。 * いろいろな種類のドングリや木の実を用意しておく。 * マラカスを作り終える頃にステージとなる巧技台を用意する。 T 始めは、作り方を示すために教師も一緒に作る。 T 作ったマラカスで演奏する時には、雰囲気盛り上げる。</p>
14:15	○集まりをする。 ・手遊びをする。 ・絵本を見る。 ○降園準備をする。 ・荷物の整理をする。 ・あいさつをする。	<p>ホール</p> <p>○○組</p>
14:30	○降園する。	

男児 ○名 女児 ○名 計 ○○名 指導者 ○○ ○○

保育にあたって
 ○ 好きな遊びをする中で、近くにいる友達との触れ合いを楽しむことができるように、それぞれの遊びのコーナーを作る。
 ○ 遊びの中に教師も入りながら、遊びの楽しさやできた喜びを共感する。
 ○ 自然物を使った製作では、幼児だけでも作ることができるように、土台となるものは、教師が用意したり、使うテープなどをあらかじめ使いやすい長さに切っておいたものを用意したりしておく。

* 物的環境 T 教師の援助

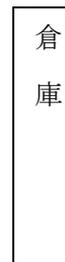
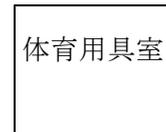
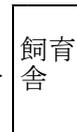
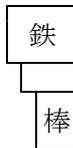
門 —



装飾品作り（頭飾りなど）

折り曲げた広告に落ち葉を貼り、頭飾りを作って遊ぶ幼児がいた。また、牛乳パックを使ってバックを作り、その中にドングリを入れて持ち歩くことを楽しむ幼児もいた。友達が持っている物に興味を持ち、自分も作ってみようとしたり、作った物を大切にしながら遊んでほしい。

- * いろいろな種類の落ち葉を用意しておく。
 - * 年少児が作りやすいように、形に折った広告や新聞紙を用意しておく。
 - * 見本を一つ用意しておく。
- T 幼児が作ったものを賞賛し、できた満足感を共感する。
 T 落ち葉を貼る際に、押さえるなどの援助をし、慣れてきたら友達同士で押さえ合うように声をかける。



△△組 □□組